

～あまご発眼卵の埋設に参加しませんか～

今年で10年目になります発眼卵放流です。みなさんの応援協力によりあまごは大変増えてきました。日本釣振興会より今年も20,000粒のご支援をいただきまして合計40,000粒の計画で行います。静寂した溪流で自然産卵の姿にも出会えるかもしれません。

また、いわ桜小学校では、水環境の大切さを学ぶため毎年あまごの里親活動に取り組んでいます。

発眼卵放流実施日 平成29年11月5日（日）
時間・集合場所 午前8時 美山支所駐車場集合 山県市谷合1358-1
埋設場所 神崎川（片原・伊往戸）・円原川・武儀川（葛原）
持ち物 胴長・じょれん・箕・ゴム手袋（ひじまでの長いもの）
組合長あいさつ
埋設河川・埋設場所・放流方法の説明
埋設方法 直まき・かご



卵の埋設放流の残存率は、野生個体には及ばないものの稚魚放流よりかなり高く費用対効果は稚魚放流より安価です。一方で冬季の川の作業となり人力作業のため手間はかかり技術が要求されます。失敗すると全滅する場合がありますが成長すると美しい魚体となります。冷たい川での作業となりますがよろしくおねがいします。

- ・発眼卵・礫（こいし）・用具等積み込み乗り合わせて現地へ行きます。（10月29日（日）礫（こいし）を詰めた土嚢袋準備をします。お力をお貸し頂けると大変助かります。）
- ・卵は生きています。1匹でも多く大河で生きていけるようやさしく放流してください。
- ・カビの繁殖や外敵からのリスクを軽減するため埋設場所を移動しながら少量ずつ行うのが理想です。当日は軽食の準備を致します。

容器放流後はカビ発生による全滅を防ぐために容器観察・除去作業が必要となります。少しずつ成長していく様子はとても神秘的です。同行していただける方はご連絡ください。



山県市谷合1358-1
美山漁業協同組合
☎0581-55-3121